

公立豊岡病院組合立豊岡病院 出石医療センター 総合診療科 医長 片山 篤志

《 病院紹介 》

出石医療センター（正式には公立豊岡病院組合立豊岡病院 出石医療センターという長い名前になります）は但馬の小京都とも言われる豊岡市出石町にある、主に出石町と但東町の患者さんを診療している 55 床の病院です。公立豊岡病院やその他近隣の医療機関（福知山市民病院など）からリハビリ継続や退院調整が必要な患者さんを受け入れているため、患者さんは出石町・但東町に限定されるわけではありません。55 床と言いましたが、あくまでも最大数であり、医師数、看護師数とも足りておらず、実際には 30～35 床程度での運用となっております。全病床のうち 22 床は地域包括ケア病床として運用されており、退院調整が一段落ついた方などは順次転床していただいています。

病院の特徴としては、前述の通り主には慢性期の方の転院を受けることが多いですが、豊岡病院が満床の際に救急集中治療科から受け入れの依頼があったり、元々出石・但東町の方で直接救急隊から救急搬送依頼があったり、外来から直接入院、出石、但東町の開業医や近隣の施設からの紹介で急性期の方が入院されることもあります。そのほか訪問診療や、隣接する特別養護老人ホーム「出石荘」入所者の回診、人間ドック、特定健診、さらには日高高校の学生への講義など、常勤医わずか 3 名（うち 1 名は西岡院長、残り 2 名は養成医）ながら非常に多くの役割を担っていると言えるのではないのでしょうか。

私の 1 週間を例に示すと次の通りです。

月：外来なし。転院受け入れ。午後の救急診察依頼の受け入れ。

火：午前 外来（初再診）。16 時～ ICT ラウンド。

水：午前 外来（再診のみ、人間ドック）。午後 禁煙外来（現在は 0 人）。訪問診療。

木：研修日（院内研修）。転院受け入れ。

金：午前 外来（初再診）。午後 月 1 回 「出石荘」回診。

この他、ICT 委員会、感染対策委員会、地域包括ケア運用会議、病院管理委員会など、複数の委員会が夕方に控えており、病院の運営方針や感染対策プロトコルに対して提案やプロトコルの策定をすることがあります。

《 当院における県養成医の役割 》

上記の通り、医師数が少ないこともあり、若手といえども当院の養成医に求められる役割は多岐にわたります。それは「忙しい」ということに他ならないのですが、一方で若手のうちに病院の運営方針を考えたり、経営上の課題などを知ることが出来るのは貴重な経験ではないのでしょうか。訪問診療や（最近はコロナで出来ていませんが）地域住民への保健講話など、病院の外へ出ていくことでも、地域医療のあり方や保健衛生への興味関心を持ち、現場で主体的に学ぶことに繋がっていると思います。

当院で勤務する養成医には、急性期の管理はもちろん、慢性期の管理や転院調整、地域住民の健康を維持すること、更には終末期の人生を元気なうちに本人、家族と決めることの重要性（ACP）の啓発などが求められていると思います。

但馬は 2005 年頃には本格的な人口減少社会に突入し、高齢化率も 2015 年に 30%を超えました（豊岡市人口ビジョン）。日本が本格的な人口減少社会に突入したのは 2011 年、高齢化率は 2022 年に 29.1%となる（総務省統計局）など、但馬は日本全体より 6～7 年先んじた社会にあると言えるかもしれません。つまり、ここで学んだ介護、福祉、保健衛生の知識や経験は、将来どこで働いても活かすことが出来ると考えられます。もちろんそれら全ての役割を一つの病院で担うことが困難であるがゆえに、公立豊岡病院と当院でも分業をしているわけですが、仮に義務年限終了後に急性期病院で働くとしても、急性期病院でしか働いたことのない人と比較してこれらの知識は大きなアドバンテージになると考えます。

《養成医同士の関わり》

現在当院では卒後 8 年目の私と卒後 3 年目の箱田医師の 2 名が養成医として所属しています。もう 3 年目の医師なので一人前の医師として外来などは任せていますが、入院患者は原則的に全例入院当日の夕にカンファレンスを行うことになっているので、その際に気がついたことは指導するような形としています。また、何か困ったことがあったときにはなるべく相談しやすい環境に出来るよう意識しています。

現在は、特に 3 年目や 4 年目の先生が安心して赴任できるよう、指導内容のパッケージ化（ルーチン化）を試みています。まず、今年度から 2 週に 1 度のペースで西岡院長も交えて、持ち回りで抄読会を行うことといたしました。また、着任当初はお互いに環境に慣れるのに必死で実現出来ていませんでしたが、今後はもう少し指導体制を強化すべく、西脇市立西脇病院や公立豊岡病院に在籍していた頃を参考に、週に 1 度箱田医師の入院患者の回診を行う予定としています。